



6月議会について

6月定例議会が、6月12日から24日までの13日間の会期で開かれました。日本共産党は、今回市長から提案された議案のうち、65歳以上の公的年金受給者から個人住民税を、普通徴収から特別徴収（強制天引き）にしていく桜井市税条例など、市民のくらしを脅かす議案については唯一反対を貫きました。一般質問ではJR踏切の拡幅と通行の安全対策や、4月から始まった「後高齢者医療制度」について、高齢者の命を守る具体的な提案をおこないました。

さらに「住民税」も年金から強制天引き！

「桜井市税条例」が賛成多数で可決される

年金からはすでに介護保険料が天引きされており、4月からは後高齢者医療保険料が天引きされました。さらに、今年10月からは国民健康保険税も天引きされようとしています。そのうえ、本人の意向をふまえないで「住民税」まで年金から天引きされます。と、老後の唯一の収入源を年金のみに頼らざるをえない高齢者にとってさらに暮らしを脅かします。この議案に質問・反対したのは、吉田議員だけでした。



みなさんと力を合わせて

実現！

学童保育所の入所枠、4年生まで広がる！

今回の条例の改正で、入所者の定員に余裕があるところでは、学童保育所の入所の資格を、これまでの3年生から4年生まで入所枠がひろげられました。同時に、今回の改正案では入所について、これまでの「市内に居住する」から、「当該学童保育所の存する小学校区内に住所を有する」に改められました。このことについては関連質問としての要望を出しました。

これまで、「定員に余裕があれば、一人でも多くの4年生以上の子どもを受け入れてほしい」という、学童保育保護者会や桜井市社会保険推進協議会などから強い要望が市に出されてきました。吉田ただお議員も昨年12月議会の総務委員会でも要求をしていました。

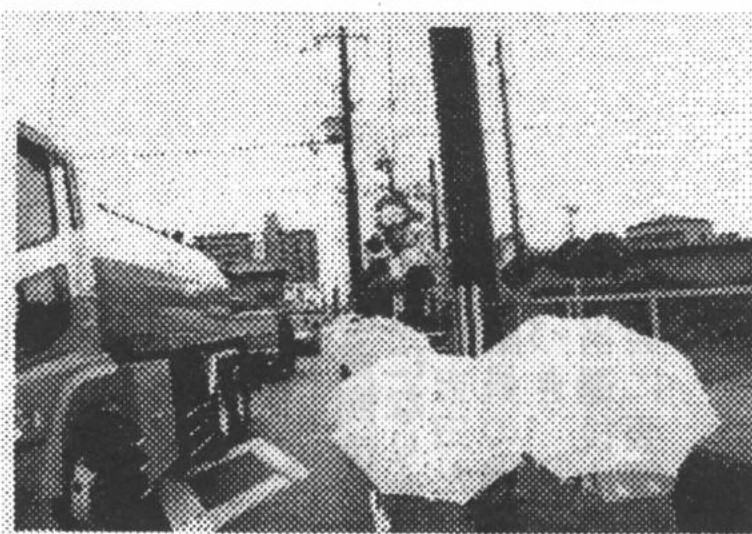
桜井市放課後児童健全育成施設設置条例の一部改正に対しての関連質問（要旨）

吉田議員

保護者の中には、校区外に定員に余裕がある場合、長期休暇中だけでも校区をまたがって、子どもを預けたいという要望をもっている方もおられます。子ども達がこれから夏休みを迎えますが、長時間ひとりでも過ごす子供もおり、親としては仕事をしていても大変心配です。ぜひ、柔軟に対応していただくと、要望をしまして質問を終わります。



通学路の安全確保を



大型車と、行き交う登校児童

6月定例議会での一般質問
吉田議員
1点目の質問は、JR桜井線と市道大福・慈恩寺線が交差する、貯木場踏切の拡幅と通行の安全対策についてであります。昨年12月27日には、地元1区長や保護者の方々が390筆の署名を集めて、要望書を提出しています。桜井市社会保険推進協議会が、JR踏切の拡幅を求めて市長交渉もおこなっています。

谷奥市長

3月議会の答弁でも、市道に隣接する電柱の移転については、土地の提供を含めて協力を得られる予定と答弁していましたが、官民境界の表示などで難航し、現在に至っています。桜井市としましても、今後とも安全に通行できるように努力していきます。

吉田議員

今、木材市場跡地にオークワ店の出店計画があり、3月に業者側の地元説明会があり、食品や住生活関連用品を取り扱う、奈良県では最初の大型スーパーとして来年から営業していくという説明です。もし、オークワがオープンしたら、買い物客の車が頻りに踏み切りを通過することが予想される。そうなること、さらに危険な踏み切りになります。そのためにも、電柱の移設も含めて、歩道確保のための道路整備を急いでいたいただきたい。関係機関や関係者の方々の誠意をもつた、粘り強い話し合いをしていただくことを要望します。

